



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.41 12月号
2013年

公益財団法人

School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

2013年を振り返って

早いものでもうすぐ新年です。カンボジアでは西暦の年末年始はあまり重要視されず、元旦は祝日ですが、他の日は通常通りです。クリスマスも都市部ではイルミネーションや飾りつけなどしていますが、農場周辺では全くクリスマスという雰囲気はありません。実際、私としてもこんなに暑いと（カンボジアでいえば涼しい時期ですが）年末年始という感じがしません。

SAJ Farm では 2013 年、成果もあれば課題もありました。今回は SAJ Farm の 2013 年について報告させていただきます。

SAJ Farm で 2013 年最大の成果は農場の全ての田畑で作物の栽培を行ったことだと思います。今までは農場内に 1ha(100m×100m)のデモ区という場所を決め、そこでの成果を挙げることを目標とし、デモ区中心に他の田畑でも少しだけ栽培をしていました。しかしながら、2013 年はレモングラスの出荷を本格的に行うため、水稻の収量を増やすために全ての田畑で栽培を行いました。全ての田畑で作物を栽培したことで、作物が良く育つところと全く育たないところがはっきり分かりました。全く育たないところは作物を植えたり養分を土に投与することで土を作物の栽培に適した状態へと変えていく必要性を強く感じました。2014 年は里芋やショウガなど土を良くするのに適したものを、SAJ Farm の土に適していると思われるものを栽培すること、鶏糞などの有機物をより多く投与することで土の状態を今よりも良い状態に変えていきたいと思えます。あと、来場された方には緑が増えたと仰っていただけようになりました。その最大の要因は作物を栽培しているというより、実は雑草が生えるようになったということだと思います。雑草というと農業ではあまり良くないイメージがあると思えますが、雑草の根が張ることで土砂崩れを防ぐなど、場所によっては役に立ちます。今までは田畑や道路の間にある畦という部分に草が生えない為にスコールで畦の土が流れ、道路が崩れていました。しかし、2013 年は畦に植えた草が根が張ったことでほとんど道が崩れることが無くなりました。お陰で除草作業は大変になったのですが、これも一つの成果だと言えます。



畦に雑草が生えるようになり、全ての田畑に作物を植えたので農場全体で緑が増えています。雑草を植えたお陰で土の流出が減りました。



スタッフが増えたことで農場に活気が出ています。今後は若いスタッフにも担当をつけることで責任を持って仕事ができるようにしていきたいと思えます。

また、栽培する量が増えたこともありスタッフの人数を増やしました。現在、契約社員2名、フルタイムのアルバイト5名、パートタイムのアルバイトが2名の合計9名の現地スタッフがいます。10月からは孤児院にいたパーリー君もSAJ Farmで勤務しています。今はパーリー君を含め、若いスタッフが多いので若いスタッフにSAJ Farmで働くことで技術的にも人間的にも成長してもらい、将来は社会でも通用するようになって欲しいなど思いながら一緒に作業をしています。実は、今も時々働きたいと言って下さる方もいるのですが、仕事が作れないためお断りしているのが現状です。その為、2014年は出荷するものを増やし、地域の方をより多く雇用することでカンボジアに少しでも貢献出来ればと考えています。

そして、8月から毎月地域の農家さんへの講習会を開催しました。今のところ毎月5~10名くらいの方に参加していただいております。2013年は耕耘機の使い方やトマトの植え方などの講習会を行いました。今後の講習会では我々が一方的に話すのではなく、農家さんの意見も聞き、皆で勉強するという形にしたいと考えています。そして、講習会の内容を充実させることで2014年には毎月10名くらいの方が参加して下さるようにしたいと思います。

それから、2013年は1月に宿舎、5月に2本目の用水路、6月に物置、10月にビニールハウスと多くの施設ができました。1月に建設された宿舎の下は作業場と倉庫になっており、仕事をするにも生活をするにも今までより便利になりました。何よりも住んでいて通勤時間が0分というのは非常にありがたいです。また、8月から2カ月かけて建設したビニールハウスは自分たちの力だけで作った力作です。このビニールハウスのお陰で雨季でも安定してレモングラスの乾燥が行えるようになりました。2014年にはビニールハウス内に棚を作ることでより多くのレモングラスを乾燥することが出来るようにしようと考えています。

2013年を以上のように振り返ると、いろいろ行動したことによっていろいろ問題が分かった年でした。どちらかといえば成果より課題が多い1年だったと思います。2014年は2013年の課題を踏まえ、よりよい成果を出せるようにしなければいけないと考えています。そのためにも私たち日本人職員が一生懸命考えて行動するのはもちろんですが、現地スタッフや地域の方々にも協力していただけるように言葉と姿勢で我々の目指す姿を伝えていかねばと思っています。日本の皆さまにも引き続き応援していただけるように頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。



耕耘機の講習会は契約社員のチャングーさんに講師をしてもらいました。講習会に参加して下さる方々は一生懸命話を聞いて下さります。



ビニールハウスのお陰で雨季でも雨を気にせずに乾燥させることが出来るようになりました。2014年には棚を設置することでより多くのレモングラスが乾燥できるようにします。

編集後記

私にとって、2013年は忘れられない年となりそうです。今年カンボジアに来てより多くの事を学ぶことが出来ました。今まで知らなかった世界を知ることで自分の視野が少しは広がったように思います。まだまだ未熟な私ですが、2014年もより多くの事を学び、人として少しでも成長できるように日々努力したいと思います。

早藤